

【募集開始】 第4次産業革命 エグゼクティブ ビジネススクール

— ものづくり企業が直面する構造変化の本質を体系的に学べる

日本唯一のエグゼクティブ・プログラム —

《モノづくり企業の DX リカレント教育（経済産業省 製造産業局プロジェクト）》

（DX は「経営システムの設計思想の変革」）

現在、AI の進化と AI を駆動するための新しい企業間データ連携基盤の台頭により業務プロセスやビジネスモデル、産業構造の在り方に至るまで創造的破壊と新結合が加速しています。もっとも、日本ではともするとデジタル技術や DX は「個別技術の実装」とみなされがちですが、本スクールでは、DX を「経営システムの設計思想の変革」という俯瞰的な視座から捉え直し、ゲームのルールが変わったことを理解するべきと考えています。

こうすることで、DX、GX、AX、AI、エージェント AI、フィジカル AI などの新しい流行のワードに惑わされることなく、経営者からみてわかりやすく、本質を突く帰納的アプローチにより、経営層・マネジメント層が直面する課題に応用可能な知識と、変革のリーダーシップを養うことが可能となると考えています。「自社のビジネスモデルは、新しいデータ連携基盤によってどこから破壊されるのか。そして、それをどうチャンスに変えるのか——その答えを構造的に理解するためのスクールです。」

（経済産業省本省製造産業局による民間企業経営層のための経営者教育プロジェクト）

本講座は、経済産業省本省 製造産業局プロジェクトとして株式会社野村総合研究所をはじめ ERP、MES、PLM、プログラムマネジメント、AI などの多数の民間ソリューションベンダーの協力を得て作成された、日本ではここだけで開催されている民間企業経営層のためのカリキュラムとなっています。

単なる IT・DX 研修ではありません。ものづくり企業が直面する構造変化の本質を、経済産業省プロジェクトの知見とともに体系的に学べる **日本唯一のエグゼクティブ・プログラム**です。（北九州工業高等専門学校は、本プロジェクトの事務局を務めました。）

（業務プロセス変革にフォーカスした新しいビジネススクール）

特に、日本のものづくりを支えてきた経営工学や欧米ビジネススクールで開発されたプロダクション&オペレーションズマネジメント（POM）という知識体系にもとづき、日本ではじめて、業務プロセス設計の基本と変革のためのデジタル技術の活用という視点から、ものづくり企業のためのビジネススクールとしてのカリキュラムを作成し、参加者からは毎年好評を得てきております。

（具体的にどういう役職・立場の人に来てほしいのか）

- DX や AI の投資を行っているが、現場の業務プロセスやビジネスモデルの変革まで踏み込めていない経営幹部・事業責任者
- サプライチェーン全体、あるいは企業間エコシステムの再構築をリードする必要がある経営層・企画部門長

【本講義の狙いと特徴】

- ① 経営的視座の獲得：バズワードに惑わされず、業務プロセスやビジネスモデルの変化、イノベーションモデルの変化など産業構造の進化を読み解く本質的な理解力を養成します。
- ② 歴史的・俯瞰的視点：1990年代からのOM発展史（SOP、SCM、S&OP、FP&A等）を振り返り、現在のデジタル連携基盤（Catena-X、Gaia-X、ODS、ウラノスエコシステム等）がもたらす取引コストの変化という視点から組織や産業構造の変革を、必然的な変化として論理的に理解します。
- ③ 実践的ケーススタディ：ソサエティ5.0といわれる「製造業のサービタイゼーションから、社会インフラ等の人工物のライフサイクルマネジメント、流通・物流産業のフィジカルインターネット、リテールメディアネットワーク、電力とDCのワットビットスワップネットワーク、ヘルスケア産業の患者のライフサイクルマネジメント等」まで、多様な産業界の事例を通じ、自社の事業変革や戦略へ応用する力を獲得します。

【講義テーマ（抜粋）】

- OM/DX の発展史と経営システム設計への応用
- 取引コストの低減と「社会生態系としてのシステムマネジメント産業」への進化
- シュンペーターの創造的破壊と現代ビジネスモデルの再構築
- データ連携基盤が加速させるイノベーションの最前線のケーススタディ
(製造業、流通・物流業、社会基盤産業、電力・DC 産業、医療機器産業他)

【プログラム詳細・募集要項】

以下のリンクより詳細カリキュラムをご確認ください。

詳細 PDF : <https://www.kct.ac.jp/extra/conso/assets/pdf/leaflet2026.pdf>

特設サイト : <https://www.kct.ac.jp/extra/conso/index.html>

「デジタル技術の本質を理解し、自社の経営システムを変革する」。そのための構想設計力と実行力を獲得したいリーダーの皆様の参加を心よりお待ちしております。

【連絡先】

北九州工業高等専門学校

(担当：第4次産業革命 エグゼクティブ ビジネススクール 事務局)

TEL : 093-964-7316

E-mail : business_school@apps.kct.ac.jp